

令和4年3月14日
愛媛大学

西日本豪雨から救出した歴史資料返還式

法文学部日本史研究室に事務局を置く「愛媛資料ネット」※は、平成30年7月の西日本豪雨の際に、浸水被害を受けた県内の歴史資料救出を行いました。

そのひとつに、宇和島市立間公民館に保管されていた大量の歴史資料があります。106箱もの文書の腐敗を防ぐため、愛媛大学 es-BANK の協力を得て、大型冷蔵庫に移し、毎週少しずつ修復と内容調査に努めてきました。

3年を経て、作業が完了し、3月23日（水）10時に、現地へ最後の8箱を返還するとともに、別添のとおり、返還の式典を行います。

※愛媛資料ネット：平成13年3月24日の芸予地震の時に結成され、以来、愛媛県教育委員会文化財保護課や各地の博物館と連携しながら、県内の歴史資料救出・保全活動を行ってきた団体です。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和4年3月23日（水） 10時00分～11時00分

場 所：立間公民館（宇和島市吉田町立間1番耕地3905番地3）

※詳細は別紙をご参照ください。



▲法文学部での作業風景(平成21年)

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学法文学部

胡 光（えべす ひかる）

TEL&FAX：089-927-9316

Mail：ebesu.hikaru.me@ehime-u.ac.jp

旧立間村史料引き渡し式典について

1. と き 2022年 3月 23日 (水)
 10時 00分より 11時 00分頃まで

2. ところ 立間公民館 (宇和島市吉田町立間 1番耕地 3905番地 3)

3. 参加者 愛媛資料ネット 代表 ^{えびす} 胡 ^{ひかる} 光
 〃 事務局長 ^{なかがわ} 中川 ^{みらい} 未来

 愛媛大学 学生数名

 旧立間村史料保存会 会長 ^{たけだ} 竹田 ^{ひろひこ} 博彦
 立間区長会 会長 ^{みざさき} 宮崎 ^{ふじお} 富士夫
 〃 区長各位
 〃 前会長 ^{あかまつ} 赤松 ^{さちお} 佐千夫
 立間公民館運営審議会 会長 ^{こうの} 河野 ^{みちなり} 道成
 予土歴史文化研究会 (宇和島市文化財保護審議委員) ^{みやもと} 宮本 ^{はるき} 春樹
 宇和島市教育委員会 教育部長 片山 治彦
 〃 文化・スポーツ課 課長 ^{もりた} 森田 ^{こうじ} 浩二 他
 立間公民館 主事 ^{ほりお} 堀尾 ^{ひかる} 光

4. 式次第
 (1) 挨拶 (公民館長)
 (2) 史料復元の経緯の説明
 (3) 復元史料の返還 (学生から保存会へ)
 (4) 感謝状・記念品 (目録) の贈呈 (教育部長・区長会長)
 (5) 愛媛資料ネットからのお言葉
 (6) 写真撮影
 (7) ご歓談

以 上